



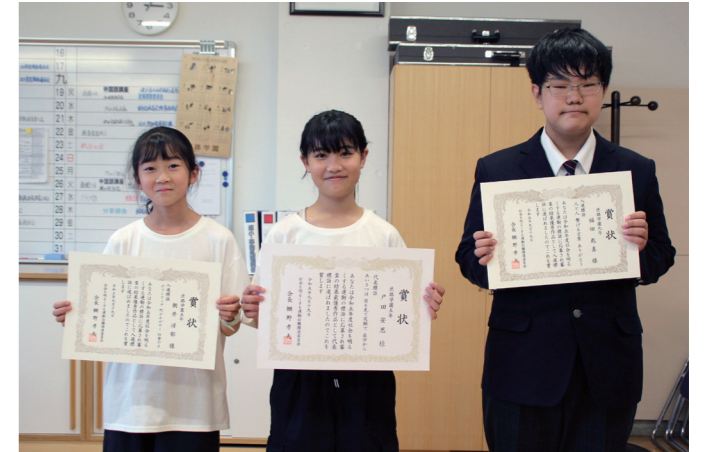
川島学長から感謝状を受け取る俳句部講師の那珂久雄さん

TOPIC 4
9/25
半世紀の活動祝う
白洋大学創設50周年記念式典

60歳以上の町民が学ぶ白洋大学（学長・川島眞澄教育長）の50周年記念式典が社会福祉センターで開かれ、関係者約50人が出席し、半世紀の節目を祝いました。式では川島学長が「真摯に学んでいる皆様の姿は全町民の模範。今後も一層の学習を深め、ますます活躍してほしい」と式辞。来賓の祝辞に続き、長年講師として大学に貢献した11人に感謝状が贈られました。式典終了後には「人生100年時代！未来のための健康プロジェクト講座」と題した講演が行われました。

TOPIC 1
9/19
代表標語
「あいさつは 目を見て笑顔で 自分から」
社会を明るくする運動入選標語表彰式

社会を明るくする運動の入選標語に9作品が選ばれました。今年度集まった作品は94点。代表標語は、庶路学園5年の戸田安思さんの作品が選ばれました。この日は、庶路学園で表彰式が行われ、戸田さんと入選標語に選ばれた福田彪真さん(9年)、朝井冨郁さん(5年)に川島眞澄教育長から賞状と記念品が手渡されました。戸田さんは「代表標語に選ばれてうれしいです」と話していました。※入選者と入選標語は9月号20頁に掲載しています。



左から朝井さん、戸田さん、福田さん

TOPIC 5
9/26
安全運転を呼び掛け
交通安全街頭啓発「旗の波作戦」

町は秋の交通安全運動期間に合わせて、国道38号沿いで街頭啓発「旗の波作戦」を実施しました。恋問集会所入口から坂の丘町内会までの約11キロにわたって、町職員や交通指導員、町内会の地域住民など約600人が旗の波を展開しました。今年は庶路学園の3年生20人が授業の一環で参加。児童は「交通安全」と書かれた黄色い小旗や手を振りながら「スピード出さないで」などと、道行くドライバーに安全運転やスピードダウンを呼び掛けました。



恋問集会所入口前で交通安全を呼び掛ける庶路学園3年生



第1分団による訓練展示の様子

TOPIC 2
9/24
訓練の成果を披露
白糠消防団・白糠支署秋季消防演習

白糠消防団（桐原千里団長）と白糠支署（村山隆一支署長）による秋季消防演習が白糠消防庁舎で開かれ、参加した団員52人が消防活動の意欲を高めました。演習では、第2、3分団による小型ポンプを使用した訓練と第1分団による消防ポンプ自動車を使用した訓練を展示し、消防活動技能の錬成や指揮能力の向上を図りました。また、同訓練内容でタイムを競う「消防団員技能競技大会」において、第1分団が見事優勝を飾りました。詳細は5頁をご覧ください。

TOPIC 6
9/30
認知症と向き合う
認知症講演会

北海道・北海道認知症の人を支える家族の会（中田妙子会長）主催の認知症講演会が社会福祉センターで開催され、参加した32人が知識と理解を深めました。初めに認知症の家族を持つ、同会会員の藤原理香さんが介護の実体験に基づく苦悩や葛藤を話しました。次に同会の西村敏子事務局長と当事者のはるさんが「認知症の人の思い」について講演。はるさんは「人とのつながりが大切なので積極的にコミュニケーションを取り、自然体でサポートして」と話していました。



「全部支援するのではなく、できることは本人に」と西村さん

TOPIC 3
9/24
参加賞は秋サケ一匹
秋晴れの下パークゴルフ
白糠漁協組合長杯PG大会

第17回白糠漁業協同組合「組合長杯」パークゴルフ大会がパークゴルフインチャロで開催され、町内外から男性129人、女性61人が参加し、男女別で優勝を目指して競い合いました。男性は上士幌町の吉田哲二さん（スコア97）、女性は白糠町の山口久美子さん（スコア101）がそれぞれ優勝を飾りました。吉田さんは「仲が良いメンバーと楽しくできました」、山口さんは「優勝できてうれしい」と話していました。



参加者のうち7人がホールインワンをしました